

平成31年1月7日

全技連マイスター会関  
東甲信越ブロック会役員 } 各位  
全技連マイスター会幹事

全技連マイスター会  
関東甲信越ブロック会会長 飯島 勇

全技連マイスター会関東甲信越ブロック会代表者会議  
の設置に関するアンケート結果及び今後の方向について

平成30年11月19日付でお願いしました標記アンケートにつきまして、対象者18名全員の方々から回答を頂きました。その結果は、別紙1「関東甲信越ブロック会代表者会議設置(案)」・「関東甲信越ブロック会代表者会議設置(案)アンケート回答者状況」のとおりでございます。

また、質問項目ごとの回答状況を別紙2「関東甲信越ブロック会代表者会議設置に関するアンケート」として、まとめさせていただきました。内容を、よくご吟味頂きたいと存じますが、下記【アンケート内容概括及び会長見解】のとおり、その内容を概括し、記述意見等につきましては、必要に応じ会長見解を付言させていただきます。

さらに、これを踏まえ、来年度の取扱い方針を提案させていただきます。これに対する賛否につき、FAX(03-5946-8792)にて、2月15までにご意見をお寄せください。

【アンケート内容概括及び会長見解】

- Q1.設置の必要性、Q2 活動概要の適否については、圧倒的多数(16名・89%)が必要を認めている。

なお、2名(11%)は「どちらとも言えない」との消極意見で有るが、否定的意見は無かった。

この事から、構成員の殆んどが、「ブロック会代表者会議設置の必要性」「その活動概要の適切さ」を支持しているものと認められる。

また、Q2の記述意見で、「支部未設置県等では年間活動計画の策定が行われていない」と有るが、このような実態・問題を構成員が共有し、問題解決にあたることに、ブロック会の存在意義があると考えます。

- Q3 構成員の適否：支部推薦理事全員を含めることの適否については、ほぼ圧倒的多数(14名・78%)が大いに賛成としている。

なお、4名(23%)は「どちらとも言えない」との消極意見で有るが、否定的意見は無かった。

この事から、構成員のうち、支部推薦理事は全員を構成員とすることが適当と認められる。

- Q3-2 構成員の適否：単一団体推薦副会長を含めることの適否、Q3-3 構成員の適否：マイスター会監事を含めることの適否については、いずれも「大いに適当」が9名（50%）、消極的意見である「どちらとも言えない」が8名（44%）で有ったが、否定的意見である「全く不適当」が1名（6%）いた。

これについては、会長としては、ブロック会の方針決定等、会としての意思決定にかかわる事項を除き、広く多くの衆知を集めることが適当であると考ええる。

また、単一団体推薦副会長は、同時に各県支部推薦理事でもあることから、仮に単一団体推薦副会長の立場からの参加は求めないとしても、当然に各県支部推薦理事の立場で、構成員に加わるべきものと考ええる。

さらに、マイスター会監事は、一般法人法99条から102条に規定する条項を遂行する義務があり、ブロック会の求めがなくとも、必要と認めれば会議に参加する職責を担っている。このことから、監事の希望により、議決権の無いオブザーバー参加を考えるべきである。

- Q4 必要経費：支部負担金は求めない、Q4-2 必要経費：マイスター会助成制度を活用、Q4-3 不足分は構成員が均等負担については、肯定的意見が83%～61%と過半数を大きく超えており、いずれも、設問通りの取扱いとすることが適当と考える。

なお、これら設問に関する記述意見は、原則として、全技連マイスター会助成金10万円の中での運営を基本とすべきであり、交通費・宿泊費・懇親会費等は構成員(参加者)負担とすべきとの意見が太宗を占めていた。また、経費節減のため、日帰り会議・会場経費のかからない場所の選定等の意見もあった。

これらを踏まえ、全技連マイスター会助成金制度の中で運営することを原則とし、交通費・宿泊費・懇親会費は参加者負担とする方向で検討したい。

- Q5 幹事（事務局担当理事）：当番県制の適否については、積極的意見が9名（50%）と半数を占めるが、7名（44%）は「どちらとも言えない」との消極的意見であり、1名については「全く不適当」との否定的意見であった。

ブロックの会議については、北海道・東北ブロック会、東海・北陸ブロック会、中国・四国ブロック会が長い活動実績を持っているが、基本的には関係する県技能士会連合会等の助力は受けられず、当番県理事が単独で事務を処理している。

監事(事務局担当理事)の処理すべき事務範囲は広く、尚且つ些末なものが多い。しかし、この事務を処理しなければ、この会議は成り立たない。また、各県理事のこの会議に対する事務処理力は、同一と考えられる。

このため、事務局担当理事は、ブロック会会長と協力しつつ、持ち回りで務めてもらうことが望ましいと考える。

